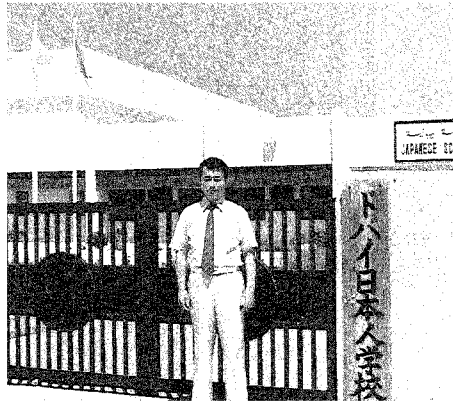


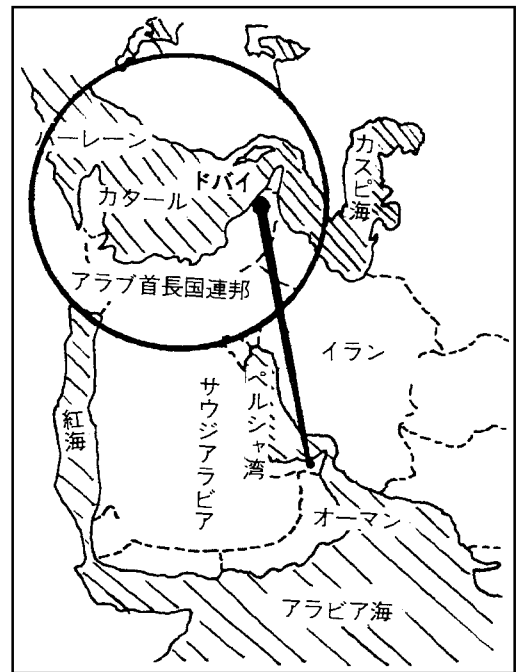
中近東からの便り

都留文科大学附属小学校の志村徳光先生は、文部省の在外教育事業の海外派遣教師として、アラブ首長国連邦のドバイ日本人学校で活躍されております。このたび、先生からお便りが届きましたのでご紹介します。



イスラムの国ドバイに来て

ドバイ日本人学校 志村徳光
昨年四月に日本を離れ、ドバイに来て早いもので一年たちました。気候や習慣の全く異なる所へ来て、とまどう事ばかりでしたが、ようやく慣れてきました。学校は、小学部と中学部が一緒になっている他は日本の学校と変わりはありません。小学部四十七名、中学部六名のこじんまりとした学校ですが、父親が日本より派



遣の子供達なので転出入がはげしく在籍者数は目まぐるしく変化します。派遣教員十名と現地採用教員一名だけなので、教頭も校長も授業を受け持たなければやっていけません。

設立当初は、一般の民家を借りて不自由な勉強をしていましたが今は立派な新校舎になりました。学校の周りは空き地が多いためグラウンドは都留一中のグラウンドと同じ程の広さがあります。六十名足らずの規模では広すぎますが、日本人会野球部が練習するには、ちょうど良いようです。

外で運動できるのは秋から春にかけての半年だけで、運動会は気候の一番良い一月下旬に行われます。

日本からドバイに来て一番とまどう事は気候の変化とイスラム国という習慣の違いでした。四月にドバイに着任した時、もう三十四、

五度になっていました。五月の中旬には、四十五度の熱風が吹き始めました。これは加熱された砂漠から吹いて来る風だそうです。こんな暑さでも日本人学校は教室や体育館まで冷房が完備され気持ち良く勉強する事ができます。しかし、廊下の歩行や駐車場までの間が大変なのです。時には五十度を超える事があるそうです。こんな気候が十月頃まで続きます。

私はこの暑さを一夏耐える事ができました。あと二年と思うと気が重くなりますが、日本から来た生徒達が元氣良く頑張っている姿を見ると勇気がわいて来ます。ここ中近東は全てイスラムの国なのです。朝、五時になるとコーランの音が響いてきます。人々は夜明前のお祈りを始めます。十時、十二時、午後三時、六時頃と一日に五回コーランが聞えて来ます。人々の信仰心は厚く、時間になる

と、職場や道路など、どこに居てもお祈りをするのです。こんな時に、学校で騒いだり、音楽を流したりする事は許されません。

四月に入ると断食が一ヶ月続きます。夜明けのコーランから夕べのコーランの間、人々は飲食やタバコは一切禁止されます。我々外国人も従わなければならないのですが、家の中で外から見られないようにしてコッソリと食事をしております。日中、商店は営業を休み、官庁も就業時間が短くなり我々日本人も不自由な一ヶ月になります。

イスラム法によると、学校は男女共学が禁止されているのだそうですが、小さな外国人学校は黙認されております。しかし、運動会などで男女が一緒にゲームをする事や、フットダンス等は厳禁されており、これに従わなければならない。運動会や学園祭にはこれが守られているか必ず警察が調べに来ます。

こんなきゅうくつな社会の中で生徒、職員一同暑さにめげず頑張っております。

志村先生の住所は次のとおりです。

NORIMITSU SHIMURA
P.O. BOX 7149
DUBAI
UNITED ARAB
EMIRATES

「あなたの県政バス」

参加者募集

■日時及び見学コース

- ① くらしまちづくりコース
7月20日(木)申込締切7月10日
- ② 総合コース
7月27日(木)申込締切7月17日
- ③ のびゆく産業コース
8月10日(木)申込締切7月31日
- ④ 親子で学ぼうコース
8月18日(金)申込締切8月8日
- ⑤ ふるさと文化コース
8月24日(木)申込締切8月14日

■対象者

「親子で学ぼうコース」は小中学生とその父兄。小中学生のみ、または父兄のみの参加は不可。その他のコースは十五歳以上の方。※県内在住者に限る。

■参加費用

無料。ただし、昼食は各自持参。

■募集人員

各コース50名

※応募者多数の場合には抽選で決定させていただきます。

■申込方法

申込締切日までに官製はがきに住所・氏名・年齢・電話番号・希望コース名を明記の上、左記へお申し込みください。

〒402 都留市田原3-3-3
南都留地方振興事務所内
県広報協会郡内支部
☎ (43) 1511